

CQO(最高品質責任者)

近藤 潤

取締役会長



「安心と愉しさ」をお客様に提供する当社にとって、「品質」はブランド価値そのものです。お客様にとって本当の「価値」あるブランドになるために、商品の品質はもちろん、お客様対応の品質、さらには企業活動の質そのものを上げていくことが大切と考えています。まず、製造工程では部品一つ一つの品質保証のあり方までを見直し、新車開発では過去の不具合の再発防止、開発ステップ検証を強化することで、商品品質のさらなる向上、特にリコール・サービスキャンペーンにつながる不具合の撲滅に取り組みます。また、コールセンターの拡充や対策部品のスムーズな供給、特約店でのサービス作業効率化等に取り組み、お客様満足度の向上を図ります。世界トップレベルの「品質」を目指し、そして「品質へのこだわり」がSUBARUのDNAと言われるまでグループ全員で企業体質を改善していきます。

CTO(最高技術責任者)

日月 丈志

代表取締役専務執行役員



技術部門で20年以上を過ごした後、商品企画部門で8年、販売マーケティング部門で6年を過ごしてきました。常にお客様の気持ちに寄り添い、より新しいアイデア、より高い技術によって、お客様にこれまで以上の喜びと満足を提供したいと考えています。近年の自動車産業では、深刻化する環境課題や交通課題への対応が求められているのと同時に、新技術による解決策も生み出されています。それらを積極的に取り入れ、現実的な形でお客様に提供していくことが必要であり、この実現に向け適切な投資やリソースの手当てを行っていきます。これからも、お客様の信頼を裏切ることなくより強めていくことが、SUBARUが生き続けるための唯一の道です。提供する商品やサービスだけではなくその基にあるSUBARUの哲学に共感していただけるよう、ブランドの立ち位置を常に見つめ直し、継続的に高めていきます。

CIO(最高情報責任者)

大河原 正喜

専務執行役員



情報(IT)とは部署と部署、人と人をつなぐものであり、そこを活性化することで「経営品質の向上」をIT側面からサポートしていきたいと考えています。そのためには、過去何ができて、何ができていなかったか、今後何を成すべきかをグループ全員で考えることが必要で、当方がその先導役となります。まずは堅牢なIT基盤の安心安全な作業環境の中で、ITコンシャスな風土を築き、全員が生き生きと働ける環境を整備していきます。そして、情報セキュリティ強化を柱としたIT基盤の整備、全体最適発想やモノと情報の整流化を基にした真のIT活用の推進、ビジネスの変革や新たな価値創造に向けたIoT、AIやコネクティッドの探求に取り組みます。これらを通して、お客様とのつながりをより深めた価値の向上および新たな価値を創造し、SUBARUブランドを磨く一翼を担っていきます。